

やってみたら面白い!

やってみる 演劇 2019

何か始めてみたい人のための
体験講座 5月スタート!

俳優編

講師：高杉征司

日程：5月11日、25日、6月22日、29日、7月13日、20日、
8月10日、24日、9月7日、14日(全10回) 土曜 10:00-12:00
※9月14日のみ 10:00-15:00

会場：2階 多目的ホール

受講料：20,000円

対象：15歳以上

定員：20名

脚本編(昼)

講師：山岡徳貴子

日程：5月13日、27日、6月10日、24日、7月8日、22日、
8月5日、26日(全8回) 月曜 11:30-13:30

会場：3階 304号室ほか

受講料：16,000円

対象：18歳以上

定員：8名

脚本編(夜)

講師：大内卓

日程：5月8日、22日、6月5日、19日、7月3日、17日、
8月7日、21日(全8回) 水曜 19:00-21:00

会場：2階 204号室ほか

受講料：16,000円

対象：18歳以上

定員：8名

脚本編関連講座

脚本を読む会

ナビゲーター：山口茜

日程：6月29日(土) 13:30-15:30

会場：2階 多目的ホール

受講料：500円

※俳優編、脚本編の受講生は無料

対象：15歳以上 定員：20名

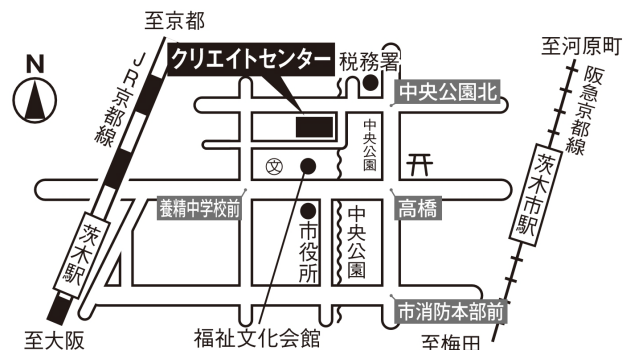
会場 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)

申込受付開始日 4月2日[火] 9:00~

申込・問合せ 茨木市文化振興財団・文化事業係

電話：072-625-3055 (9:00~17:00)

主催：合同会社 stamp 共催：公益財団法人茨木市文化振興財団 [www.ibabun.jp]



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩12分。

やってみる演劇

何か始めてみたい人のための体験講座

俳優編

講師：高杉征司

5/11、25、6/22、29、7/13、20、8/10、24、9/7、14 (全10回) すべて土曜 10:00-12:00
※9月14日のみ 10:00-15:00

ドラマや映画を観ていてセリフを真似して言ってみたり、俳優をやってみたいと思ったことのある人は多いと思います。そんな密かな願望を叶えるための体験型ワークショップです。最終日にはミニ発表会を開催します。お客さんの前で舞台上立つ緊張感やそれを乗り越えた喜びを感じてください。演じることに不安を感じている方でも大丈夫。私たちは、日常で日々演じているのですから。ゲームやトークで楽しみながら「演技」に触れていき、徐々に台本へと入っていきます。台本を読み解いていくと、役割や個性、他の役との関係性が見えてきます。するとセリフの根柢が生まれ、説得力が出てきます。文字だったセリフが立体的に浮かび上がってくるのです。それは本当に楽しい「体験」です。みなさんの参加をお待ちしています!

講師プロフィール>>>

1975年生まれ。広島県出身。同志社大学文学部卒業。大学在学中から演劇を始め、2001年にWANDERING PARTYを旗揚げし、代表に就任。同団体が若手演出家コンクール 2007最優秀賞受賞、「束芋：断面の世代」記念公演として横浜美術館・国立国際美術館にて『total eclipse- トータル・エクリプス-』上演、など精力的に活動する。11年解散。15年にサファリ・Pを旗揚げ。利賀演劇人コンクール2015優秀演出家賞一席受賞。17年に合同会社stamp設立。演劇と日常、私とそれ以外、そんな境界を疑い、シームレスにすることに興味を示している。舞台上でも具象と抽象のはざまを彷徨っている。



俳優編申込QR

脚本編 (昼/夜)

京都で活動するお二人の劇作家をお招きして、脚本講座を開催します。いずれ一人で書くかもしれない方には補助輪のような講座に、ちょっとした興味で参加される方には人生のスパイスのような講座になることと思います。皆様、ふるってご参加ください。(脚本編コーディネーター：山口茜)

脚本編 (昼)

講師：山岡徳貴子

5/13、27、6/10、24、7/8、22、8/5、26 (全8回) すべて月曜 11:30-13:30

人の価値観に合わせるのではなく、自分が面白いと思う“何か”に正直に向き合えること。それが脚本を書く魅力の一つです。誰にでも取り組みやすい“想像ゲーム”から始めましょう。『舞台は〇〇。深刻な様子の二人の関係は?』思いつくことを出し合って、そこからまた想像を膨らませます。簡単な作業を通して、舞台脚本を書く上で知っておきたいことやコツ等をお伝えしていきます。短い作品、または一場面を書くことが講座の最終目標ですが、書ける自信がなくても大丈夫。まずはこの講座を、“想像ゲーム”を楽しんでください。その作業の積み重ねによって作品は創造されていくはず。やってみたい、気持ちだけ持って、ご参加ください。

講師プロフィール>>>

京都在住。劇団八時半所属中に執筆活動を始める。『紡ぐ』がkyoto演劇フェスティバル脚本賞。『逃げてゆくもの』が北の戯曲賞優秀賞。演劇ビギナーズユニットの講師などを経て、魚灯を旗揚げ。『祭りの兆し』がOMS 戯曲賞佳作。『静物たちの遊泳』『着座するコブ』が二年連続で岸田國土戯曲賞の最終選考作品となる。



脚本編昼申込QR

脚本編 (夜)

講師：大内卓

5/8、22、6/5、19、7/3、17、8/7、21 (全8回) すべて水曜 19:00-21:00

私の五歳の子供はよく独りごとを言っていて、よくよく聞いてみるとそれは『誰かと誰かの会話』だったりします(友達のものなのか、アニメのキャラクターなのか、登場人物は不明です)。この支離滅裂な会話を書き取ったもののものを脚本と呼んでよいか分かりませんが、それに近い何かにはなるとおもいます。まずはこの五歳児のごとく『気軽に』『無責任に』セリフを連ねていくところから始めようと思います。そうしてできた無責任な脚本からシチュエーション(登場人物は何者か? 関係性は? 目的は? そもそもここはどこ? 等々)を考え、脚本の成り立ち・表現の理解につなげていきたいと思ひます。皆さまが本当に書きたい脚本を書く時の基礎となる、そんな講座になればいいと思ひます。

講師プロフィール>>>

脚本家・演出家。1997年、劇団飛び道具の旗揚げに参加し、座付きの脚本家として活動を開始。以降、劇団のほぼ全ての脚本を担当する。2009~2011年、自分の書く脚本に疑問と限界を感じ、海外ボランティアとして途上国(ミクロネシア連邦)の暮らしを経験。帰国後も何事もなかったように脚本の執筆と上演を続けている。



脚本編夜申込QR

脚本編関連講座 **脚本を読む会** ナビゲーター：山口茜 6月29日(土) 13:30-15:30

小説は一人で読むようにつくられていますか、脚本は「上演するための本」です。だからでしょうか。ページをめくってみたいと思ひお大きな本屋さんに行く必要がありますし、実は図書館に置いてあるのですが、その前に立っておられる方はあまりお見かけしません。今回はそんな、日常生活ではめったに触れる機会のない脚本を、みんなで読んでみたいと思ひます。脚本を書いてみたい方も、演じてみたい方も、ちょっとやってみてみたい方や誘われただけの方も、どうぞお気軽にご参加下さい!

講師プロフィール>>>

劇作家・演出家。2000年、自身の劇作、演出で演劇を上演する団体、トリコ・A(立ち上げ当時は別名)を設立。03年第10回OMS戯曲賞大賞受賞。07年から09年文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてフィンランドに滞在。12年文化庁芸術祭新人賞受賞。15年利賀演劇人コンクール2015優秀演出家賞一席受賞。15年アトリエ劇研アソシエイトアーティスト、16年セゾン文化財団シニアフェローに選出。17年俳優の高杉征司とともに合同会社 stamp 設立。主なテキスト提供作品: KAVC プロデュース「カルメン」(演出/小野寺修二、出演/片桐はいり他)、カンパニーデラシネラ「椿姫」等。



脚本読む会申込QR